

(様式第4号)

第1回上田中央地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田中央地域協議会
2 日時	令和3年4月26日 午後1時30分から午後3時30分まで
3 会場	中央公民館
4 出席者	天田委員、伊藤委員、大井委員、金井委員、小林みゆき委員、小林芳夫委員、瀬下委員、田中委員、谷藤委員、成澤委員、半田委員、平澤委員、増沢委員、町田委員、丸山委員、望月委員、山浦委員、山田委員、山寺委員
5 市側出席者	【事務局】片山地域内分権推進担当係長、近藤中央地域担当主査、芳池地域内分権推進担当主事 【危機管理防災課】星野危機管理防災担当係長、大林危機管理防災担当係長、金井危機管理防災担当係長（消防派遣）
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和3年5月11日

協議事項等

次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 交代委員の紹介及び異動職員の報告

4 協議

中央地域の地域課題について

防災問題のテーマごとに分かれて意見交換

【第一分科会：自主防災組織の運営と外国籍市民・高齢者・自治会未加入者等の対応について】

危機管理防災課からの説明、意見交換

以下、委員からの主な意見

- ・自助が大切と言うが、日頃から備蓄している人は少ないのではないか。
- ・防災訓練も形だけになっているのではないか。
- ・行政の指揮管理系統についての組織表はあるのか。
- ・マンション住人との連携が難しい。管理組合を作ってもらい連携するなど方法を模索している。
- ・公助が行われるまでの期間を示してほしい。どこまで自助共助で耐えればいいのか目安がないと自主防災組織も運営できない。
- ・フェーズは決まっているのか。
- ・行政が主導して、自主防災組織の仕組みだけ作るのではなく、実態のある組織としてほしい。

【第二分科会：情報の共有化・避難の連絡網と移動手段について】

以下、委員からの主な意見

- ・状況により指定緊急避難場所へ避難することがかえって危険な場合もあるため、災害の種類に応じて近くのマンションや民間施設等に避難できる体制にするのはどうか。
- ・上記の民間施設に避難した場合は、その施設に支払うべき費用の一部を市が負担する仕組みにするとよいのではないか。また、民間施設への交渉は市と自治会で行ってはどうか。

- ・どこに避難するかは各自治会で検証してはどうか。
- ・一次避難場所が決められているが、家から近い所に避難したほうがよいと思う。
- ・より早く末端まで届く伝達方法について、現在何を検討しているのか知りたい。
- ・武石は独自のシステムを導入している。
- ・オンラインでの情報共有・伝達はとてもよいと思っているが、扱えない人にはどのような対応を考えているのか知りたい。
- ・災害関係の問い合わせについて、一つの番号を決めてそこから各課に繋いでほしい。
- ・令和元年東日本台風の時、どのようなことを行ったのか知りたい。
- ・市から災害情報の提供があるが、もっとエリアを細分化して情報提供して欲しい。
- ・災害情報の伝達がどのような手段で、どのようなルートで行っているか知りたい。

【第三分科会：コロナ禍における避難所とその運営について】

- ・消防団の活動内容について、かかわったことのない委員からの質問と自治会長経験者や活動経験のある委員からの活動内容の紹介。
- ・実際に災害が起きた場合、消防団は被災者の自治会加入の有無を問わずに支援活動を行うので、自治会費とは別に、防災費の負担だけをお願いしてもよいのではないか。
- ・高齢化が進む中で、市からの電子メールによる情報発信だけで、事足りるのか。電子メールの情報は量が多すぎて見切れない。今は LINE による情報発信が主流になっている。国分自治会は独自に、自治会加入世帯に対する情報伝達手段を整備している。
- ・災害時の情報発信について、自治会単位ではなく、もう少し詳しい区分で発信できないか。例として、同一自治会でも河岸段丘の上と下では、浸水危険度が異なるため。
- ・避難所において、最高責任者が誰なのかがはっきりしない。避難所担当職員なのか、自治会長なのか。
- ・どこに聞けば、地域の正しい災害情報が得られるのかが分からない。自治会長か消防団か、どちらでもよいのか。

5 その他

次回日程

5月25日(火) 午後1時30分から

於) 中央公民館 2階第1・2・3会議室

6 閉会